

15. おわりに

震災からの復旧拠点となった上町の市役所分庁舎が、平成23年度中に解体・撤去される。

分庁舎は、昭和35年に福島郵便局舎として建設され市民に親しまれてきた建物であるが、福島郵便局は、業務拡大により昭和53年8月に森合町に移転し、昭和62年には福島中央郵便局に改称している。

福島市は、この上町の土地、建物を東北郵政局から買収するに伴い、当時水道部は五老内町の市役所敷地内に建設した独自庁舎で業務を行っていたが、水道局に名称を変更して、昭和54年4月1日に分庁舎へ移転し、安全安心な水道水を安定供給するための拠点とした。

分庁舎は、水道局のほか福島地方水道用水供給企業団や福島地方広域行政事務組合、えふ・サポート、国体準備局のほか、福島市・飯野町合併協議会事務局など多くの市関連機関の事務所としても活用された。

建設から51年、今回の震災復旧の間も、局災害対策本部として有効活用した建物ではあるが、耐震診断の結果、震災の傷跡は深く危険な状態と判断されたため、市内全域が復旧した3月22日の4日後、水道局は分庁舎から市役所本庁舎の7階から9階へ分散移転し、3月28日からは新たな場所で本格復旧に動き出した。

